

2019年度海外留学支援制度（学部学位取得型）

申請の手引き・記入例

※応募するためには、事前登録手続きが必要です。未登録の場合は、2018年11月12日（月）正午（日本時間）までに、日本学生支援機構（以下「機構」という。）ホームページより事前登録を行ってください。

□ 応募にあたっては、「2019年度海外留学支援制度（学部学位取得型）募集要項」（以下「募集要項」という。）、「2019年度海外留学支援制度（学部学位取得型）Q&A」（以下「Q&A」という。）を確認してください。「募集要項」に記載している「5. 資格要件」の各要件を満たさない場合は審査の対象となりませんので、資格要件を満たしているかは「募集要項」でよく確認してください。

※1つでも該当しない要件がある場合は応募できません。

□ 応募書類を作成するためのファイルは、「願書ファイル（様式1～7）」、「推薦状」及び「語学能力証明書【該当者のみ使用】」です。「2019年度海外留学支援制度（学部学位取得型）申請の手引き・記入例」（本紙。以下「申請の手引き」という。）に従って、応募書類を作成・提出してください。

※応募にあたって、インターネット接続とMicrosoft Excelは必ず使用します。

□ 応募書類の欠落（不足）や記入漏れ等があった場合は、審査の対象となりません。また、機構が応募書類を受理した後は、応募書類の差し替えや訂正は認めません。そのため、提出する書類は、できる限りダブルチェックしてもらうことをお勧めします。

□ 応募書類のうち、在籍（又は卒業）学校等に作成を依頼するものがあります。余裕をもって依頼し、提出期限までに必ず機構に提出できるようにしてください。

□ 「願書ファイル（様式1～7）」に記入した内容が根拠書類の記載内容と一致していない等の疑義がある場合は、根拠書類の記載内容を優先し審査します。

I. 応募書類の作成・提出方法

事前登録期間：2018年9月26日（水）～11月12日（月）正午（日本時間）

提出期間：2018年9月26日（水）～11月14日（水）17：00（日本時間）

・オンラインによる提出、郵送等による提出いずれも11月14日（水）17：00 必着です。

※1：事前登録（オンライン）、応募書類の提出（オンライン）又は調査書（又は成績証明書若しくは合格（見込み）成績証明書）と推薦状の提出（郵送等）のいずれか一つでも期限を過ぎた場合は、いかなる理由があっても応募を受け付けかねますので、あらかじめご了承ください。

※2：締切直前はアクセスが集中するため、余裕をもって提出してください。アクセスの集中やインターネット環境の不具合を原因として事前登録やオンラインシステムによる応募書類の提出ができなかった場合でも、救済措置はないので注意してください。

提出するものは以下の4点です。

＜オンラインシステム（マイページ）で提出する書類＞

※ファイル名は、応募者氏名を入れてください。

- i. Excelファイル：「願書ファイル（様式1～7）」
ファイル名：「〇〇〇〇_2019 様式.xlsx」
- ii. PDFファイル：PDF 指定の書類を1つにまとめたファイル
ファイル名：「〇〇〇〇_応募書類.pdf」

＜郵送で提出する書類＞

※配達記録の残る郵便又は宅配便にて提出してください。

- iii. 調査書、成績証明書又は合格（見込み）成績証明書（紙媒体・厳封されたままのもの）
- iv. 推薦状（紙媒体・厳封されたままのもの）

1. 在籍学校等に書類の作成を依頼する

調査書（又は成績証明書若しくは合格（見込み）成績証明書）、単位修得証明書、推薦状、卒業（見込み）証明書（又は修了見込み証明書）等、在籍学校等に作成を依頼する書類については、提出期限に間に合うよう余裕をもって依頼してください。

なお、すべての書類が揃わない場合は応募できませんので注意してください。

2. 応募書類を作成する

書類の提出にあたり、「2019年度海外留学支援制度（学部学位取得型）出願書類確認表（様式7）」（以下「出願書類確認表（様式7）」という。）で、応募書類をどの形式で提出するか（Excelファイルか、PDFファイルか）を確認してください。

「募集要項」の「8. 応募方法」や「Q&A」の「2. 資格要件に関する事項」、「3. 応募・審査に関する事項」についてもよく確認してください。

i. Excelファイル：「願書ファイル（様式1～7）」

(1) ダウンロードした「願書ファイル（様式1～7）」は、記入例を参照し入力してください。

(2) Excelファイル名を、「〇〇〇〇_2019 様式.xlsx」に変更してください。〇〇〇〇には、応募者自身の氏名を入力してください。

(3) 「願書ファイル（様式1～7）」は他のシートからデータが反映される箇所があるため、シートの削除ができないよう保護をかけています。提出するときは、そのまま提出してください。

「願書ファイル（様式1～7）」には「連絡人（保護者）届出書兼同意書（様式6）」が含まれますが、様式6については必ず「PDF 提出書類」として提出してください。Excelファイルに必要事項が入力されていたとしても、それは応募書類とはみなさず、押印（2か所）があるPDF化されたもののみを応募書類として取り扱います。

(4) 提出期限を過ぎると、オンラインシステム上で応募書類、根拠書類をアップロードできなくなります。指定の箇所からアップロードされた応募書類以外は受け付けられませんので、注意してください。なお、応募締切時間直前にアクセスが集中したため、提出期限までにアップロードできなかった場合であっても、応募書類は受け付けられません。

- (5) 「様式1 願書」、「様式2-1【第1希望】留学先大学等情報」、「様式2-2【第2希望】留学先大学等情報」、「様式2-3【第3希望】留学先大学等情報」は一部プルダウンから選択して回答するものがあります。選択肢を誤るとデータが正しく反映されないので、注意してください。
- (6) 「様式2-1」、「様式2-2」、「様式2-3」、「様式3-1a~3-3a 留学を志す理由・留学計画・卒業直後の進路計画【日本語】」、「様式3-1b~3-3b 留学を志す理由・留学計画・卒業直後の進路計画【留学先使用言語】」、「様式4 日本社会への貢献について」、「様式5 留学をテーマとした自己PR」については、記入例に掲載している指示に従って入力してください。
- (7) 「様式2-1」、「様式2-2」、「様式2-3」について、出願する大学が1校だけの場合は、「様式2-1」のみの入力ですが、出願する大学が2校ある場合には「様式2-1」及び「様式2-2」に、3校以上ある場合には「様式2-1」、「様式2-2」、「様式2-3」のすべてに、入力してください。
- (8) 「様式2-1」、「様式2-2」、「様式2-3」の「取得予定学位名(英語)」について、リベラルアーツカレッジ等、入学時に専攻が決定していない場合でも、応募時に検討している学位の情報を記入してください。「学士」の学位が取得できることが確認できない場合は審査の対象となりませんので、きちんと調べて記入してください。
- (9) 「様式3-1a~3-3a」は日本語で、「様式3-1b~3-3b」は留学先使用言語で、「様式4」は日本語で作成してください。
- (10) Excel ファイルの全様式について、A4判1枚以内で作成してください。入力後は印刷(あるいはPDF化)し、文字切れがないかを確認してください。
- (11) 「出願書類確認表(様式7)」の「留意点」を参照し、入力漏れがないかを確認してください。

ii. PDFファイル：PDF指定の書類を1つにまとめたファイル

- (1) 「出願書類確認表(様式7)」の「留意点」を参照し、応募書類を用意してください。PDF指定の書類とは、「出願書類確認表(様式7)」に「PDF提出書類」と記載されている書類です。
- (2) 応募書類はすべて**A4判に統一**してください。証明書等でA4判より小さいものは、A4判用紙に貼付するなどして、A4判に統一するように努めてください。
- (3) 日本語以外で作成された応募書類については、応募者が作成した日本語訳を必ず添付してください。
- (4) 「様式2-1」、「様式2-2」、「様式2-3」の根拠書類として添付する留学先大学のホームページ等の資料の右上には、「別添●」と記入してください。

根拠書類が必要なのは、次の項目です(学士課程のみの場合は4項目、大学入学準備コースを含む場合は6項目)。

- ① 学士号取得期間
- ② 留学先が求める語学能力
- ③ 取得できる学位及び学位取得プログラムの概要
- ④ 留学先大学の概要
- ⑤ 【大学入学準備コース】留学先が求める語学能力(該当者のみ)
- ⑥ 【大学入学準備コース】準備コースの概要(該当者のみ)

抜粋元は該当箇所が分かるように抜粋箇所付近に日本語訳を記入するとともに、マーカーや下線(必ず色付けする)を引く等、分かりやすく明示した上で提出してください。また、

前ページの①～⑥の番号と項目も該当箇所付近に記入してください。作成にあたり、5ページの「別添資料作成例」も参考にしてください。

「③取得できる学位及び学位取得プログラムの概要」については、必ず応募者の**取得予定学位名が明記された根拠資料を添付**してください。大学の Admissions や Degree programs のページ等を印刷したもので構いません。

(5) 「留学先大学への出願書類（写し）」について、留学希望大学に実際に提出した出願書類（一式）の写しを添付してください。

オンライン出願の場合は、申請画面のスクリーンショット等を提出してください。その場合、申請内容がきちんと確認できるよう、過度に文字が小さくならないよう印刷設定をしてください。文字が不鮮明ではないか、文字切れがないか等についても注意してください。

本制度への応募時に、まだ留学先大学に出願していない場合は、実際に提出する予定の出願書類（一式）の写しを提出してください。本制度への応募時に、留学先大学の募集要項が公開されていない場合のみ、出願書類（一式）の写しの提出を省略しても構いません。

提出書類にはいずれも、必ず日本語訳を添付してください。

(6) 「入学許可書（写し）」について、「様式2-1」、「様式2-2」、「様式2-3」において「入学許可書の状況」で「有」と選択した場合には、必ず提出してください。必ず日本語訳を添付してください。

(7) 高等学校卒業程度認定試験合格者で、高等学校等で修得した単位がある場合には、高等学校等に「単位修得証明書」の発行を依頼し、PDF 化して提出してください。**提出漏れを避けるため、裏面の記載の有無にかかわらず、必ず両面とも PDF 化して提出してください。**

(8) 「家計支持者（父・母、又はこれに代わって家計を支えている者）の市町村役場発行の平成 29（2017）年所得証明書（写し）」について、**収入がない場合にも必ず提出してください。**「源泉徴収票」や「確定申告書（控）」の写しは提出書類として認められませんので、注意してください。

(9) 「連絡人（保護者）届出書兼同意書」については、直接入力しても、手書きでも構いません。ただし、**応募者本人の印と連絡人（保護者）の印を押した上で**、PDF 化して提出してください。

(10) PDF 化するにあたって、まず、書類がすべて揃っているか、書類に不備がないかを確認してください。確認できたら、PDF 指定のある書類を「出願書類確認表（様式 7）」の応募書類一覧の順に並べて1ファイルにしてください。**書類の漏れ落ちを防ぐために、応募書類をすべて片面印刷しておくことを強くお勧めします。**

(11) PDF 化するときは、必ずしも電子ファイルから PDF を作成する必要はなく、コピー機等でスキャンし PDF を作成しても構いません。コンビニエンスストア等で PDF を作成される方は、以下の URL を確認してください。

例) セブン-イレブン : <http://www.sej.co.jp/services/scan.html>

ローソン : <http://www.lawson.co.jp/service/others/multicopy/>

(12) 特に、証明書類の中で両面印刷されているものについては、片面だけでなく、両面とも PDF 化されているかをよく確認してください。

(13) 1つの資料が複数にわたる場合は、該当する書類の右下に、通し番号を付してください。

(14) PDF ファイルに空白ページが生じないようにしてください（「(7) 単位修得証明書」を除く）。

(15) PDF ファイル名を、「〇〇〇〇_応募書類.pdf」に変更してください。〇〇〇〇には、

応募者自身の氏名を入力してください。

別添資料作成例

右上に資料番号を記入してください。その際、①～⑥のいずれの情報かわかるよう番号と項目を明記してください。

様式 2 - 1 ①学士号取得期間、③取得できる学位及び学位取得プログラムの概要	
SHIENKIKO UNIVERSITY	
Home > Admission > Degree programs > Undergraduate > Bachelor of Law degrees	
<u>Bachelor of Law (LLB)</u> Key information Structure How to apply Tuition/Scholarships	Key information SU Laws is home to an intellectually diverse and dynamic community of legal scholars. You will be able to take advantage of a range of teaching methods as part of your learning, and during lectures, seminars and tutorials, you'll have the opportunity to explore the principles of law. (訳)シエンキコウ大学法学部は・・・ Program starts September 2019 (訳) 2019年9月開始 Duration 3 years (Full-time) (訳) 3年間 Degree Bachelor of Law (訳) 法学士

該当箇所にマーカー（色付けする）を引いたうえで、日本語訳を記入してください。

※このほか、①～⑥の事項に関する情報については、同様に情報の抜粋元を添付し、該当箇所にマーカー（色付けする）を引いた上で、抜粋箇所付近に日本語訳を記入してください。

3. 応募書類を提出する

「i. Excel ファイル：『願書ファイル（様式1～7）』」及び「ii. PDF ファイル：『PDF 指定の書類を1つにまとめたファイル』」

「出願書類確認表（様式7）」を用いて、提出書類の記入漏れや欠落（不足）がないか最終確認をしてください。確認後は「出願書類確認表（様式7）」の「応募者チェック欄」に「✓」を入れてください。

事前登録時に発行された ID とパスワードによりオンラインシステムにログインし、オンラインシ

システム内の指示に従い、Excel ファイル及び PDF ファイルをアップロードして、提出してください。
締切直前は、アクセスが集中することが予想されるため、余裕をもって提出してください。

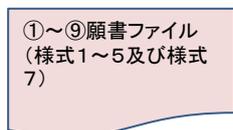
「iii. 調査書、成績証明書又は合格（見込み）成績証明書（紙媒体・厳封されたままのもの）」及び「iv. 推薦状（紙媒体・厳封されたままのもの）」

- (1) 郵送等により提出する書類を用意してください。
 - ① 高等学校等卒業者及び卒業見込み者は、「調査書」及び「推薦状」を提出してください
 - ② 高等専門学校3年次修了見込み者は、「成績証明書」及び「推薦状」を提出してください
 - ③ 専修学校卒業者及び卒業見込み者は、「成績証明書」及び「推薦状」を提出してください。
 - ④ 高等学校卒業程度認定合格者は、「合格成績証明書」又は「合格見込み成績証明書」を提出してください。

※高等学校等で修得した単位がある場合には、「単位修得証明書（写し）」の提出が必要ですが、郵送等による提出ではなく、PDF 化して、オンラインシステムにより提出してください。
- (2) 厳封したまま、書留又は宅配便等配達記録が残る方法で送付してください。
- (3) 封筒の表に朱書きで、「海外留学支援制度（学部学位取得型）応募書類在中」と記載してください。
- (4) 受理した書類は返却しません。
- (5) 送付先は、「募集要項」の「15.応募書類等提出先及び本件照会先」を確認してください。

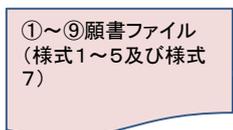
II. 書類提出の流れ

(1) Excel ファイル

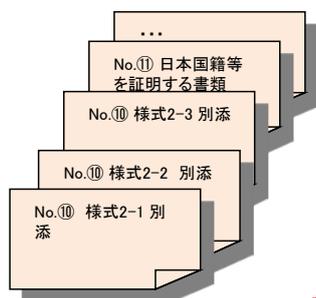


(1) Excelファイル

(Excel 1ファイル:「〇〇〇〇_2019様式. xlsx」)

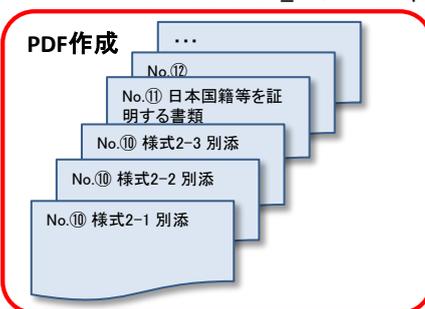


(2) 応募書類一式（紙媒体）

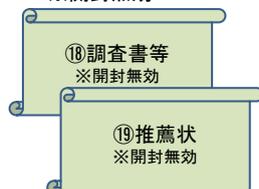


(2) 応募書類一式

(PDF 1ファイル: 〇〇〇〇_応募書類. pdf)



(3) 調査書等及び推薦状
※開封無効



2. 提出

2-2. 郵送で提出



受付センター宛に送ってください。



本シートの様式は変更しないでください。本様式はA4用紙1ページで印刷されるサイズです。
写真データ貼付の上、提出してください。
 提出前に必ず印刷をし、文字切れがないかを確認してください。

様式1
 (A4判)

1 願書

2019年度 海外留学支援制度(学部学位取得型)

フリガナ(姓)	キコウ	フリガナ(名)	ハナコ
姓	機構	名 (ミドルネーム含む)	花子
ローマ字(姓)	KIKOU	ローマ字(名)	Hanako
生年月日	2000年12月1日	年齢	18 歳 (2019年4月1日現在)
国籍	日本国籍	「永住権」の場合の国籍	性別 女
現住所	〒 135-8630 東京都江東区青海2-2-1		
電話番号	060-8765-4321	メールアドレス	iso3@jasso.go.jp

応募から合格発表までの間、連絡が取れるものにしてください

(1) 応募時身分に関する情報				学校に聞いて記入してください	
最終学歴	1.高等学校	学校名(正式名称)	東京都立日本学生支援高等学校	学校の種別	全日制
認定試験合格年月日(4を)		都道府県	東京都	卒業(予定)年月	2019年3月
学校名(正式名称)	東京都立日本学生支援高等学校	学業成績基準	3.8	在学状況	在学中
高等学校卒業程度認定試験合格者も記入必須です				応募締め切り日から3年以内は応募可能です	

(2) 世帯状況 ※家計支持者について記入してください。		
続柄	氏名	職業・勤務先(※会社名等)
父	機構 栄太郎	会社員・日本学生支援機構
母	機構 あおみこ	主婦

(3) 連絡人兼保護者	
連絡人兼保護者氏名	機構 栄太郎
連絡人兼保護者電話番号	030-1111-1111

収入の有無に関わらず、「所得証明書」を提出する対象者です

「連絡人(保護者)届出書兼同意書」と合致させてください

(4) 学歴・職歴 ※5	
年月(西暦)	学歴・職歴
2016年4月	東京都立日本学生支援高等学校入学
2019年3月	東京都立日本学生支援高等学校卒業見込み

(5) 過去の海外経験 ※主なものを3つまで記入してください。			
目的	期 間	国・地域	
旅行	2013年8月 ~ 2013年8月	インド	
留学	2017年7月 ~ 2017年8月	オーストラリア・シドニー	

(6) 各種活動における表彰等の実績(任意) ※主なものを3つまで記入してください。	
年月(西暦)	表彰等の実績・活動状況
2017年5月	第34回学内英語弁論大会優勝
2017年12月	都内●●英語スピーチコンテスト入賞

顕著かつ明確な実績がある場合は、面接審査においても確認する場合があります

(7) 免許・資格 ※主なものを3つまで記入してください。	
年月(西暦)	免許・資格
2017年12月	IELTS 7.0
2018年2月	漢字検定1級

取得している場合は、特にアピールしたいものを3つまで記入できます

使用言語が英語以外の場合は、選択必須です

(8) その他					
留学先大学における主な使用言語	英語	応募者の語学能力(名称、点数・級・レベル)	IELTS 7.0	英語以外の場合	
留学のために申請中の他の奨学金の有無	無	「有」の場合、その奨学金名	有効期限は過去2年以内です	3	校受験予定

直筆でなくとも可能です

2-1. 【第1希望】

様式2-1

I. 第1希望【学部正規課程】 **「国・地域コード表」で確認してください**

大学名(英語又は現地語)			
所在国の国・地域コード	所在国・地域		
大学の住所			
留学先大学の所在都市の危険情報(「外務省 海外安全ホームページ」)			
正規の学部課程の開始年月	年	月	学士号取得期間 年
取得予定学位名(英語)			
留学先が求める語学能力		語学能力	IELTS 7.0
入学許可書の状況	条件		
大学入学準備コースの必要性		場合のみ「必須」を選択してください。	
取得できる学位名 取得プログラムの概要 ※【重要】「学士」の学位名がわかる資料を必ず添付してください。			

第2・第3希望は、様式2-2、2-3に情報を入力してください

外務省海外安全HPで確認してください
※「レベル2以上」に該当する場合は、審査対象外です

「有」は入学許可書を提出してください

該当部分を目立つように色付けして、近くに和訳を付けてください
※他の添付資料も同様にしてください

*抜粋元 (別添)

留学先大学の概要

「I」(正規課程)で「大学入学準備コースの必要性」を「不要」にした場合は、記載不要です

「I」(正規課程)と「II」(大学入学準備コース)の開始年月と期間について:
原則、採用後の延長はできません。大学入学準備コース修了や、学位取得までに必要な正規課程の登録期間等を詳細に調べてください
大学入学準備コースがある場合は、それが2019年度中に、ない場合は、正規課程が2019年度中に開始する必要があります
在籍前の語学研修やオリエンテーションは含めないでください

II. 第1希望【学部正規課程入学のための大学入学準備コース】

機関名(英語又は現地語)			
準備コース等の名称			
所在国の国・地域コード	所在国		
機関の住所			
留学先大学の所在都市の危険情報(「外務省 海外安全ホームページ」)			
準備コースの開始年月	年	月	開始 準備コースの期間 年 か月
留学先が求める語学能力		(別添)	応募者の語学能力 IELTS 7.0

準備コースの概要

*抜粋元 (別添)

2-2.【第2希望】 留学先大学等情報

様式2-2

I.第1希望【学部正規課程】					
大学名(英語又は現地語)	UNIVERSITY OF JASSO				
所在国の国・地域コード	794	所在国・地域	英国	所在都市	ロンドン
大学の住所	●●●●, London, UK				
留学先大学の所在都市の危険情報(「外務省 海外安全ホームページ」)	レベル1以下		確認年月日	2018年9月30日	
正規の学部課程の開始年月	2020	年	9	月開始	学士号取得期間
取得予定学位名(英語)	Bachelor of Arts in Political Sciences			種別	文系
留学先が求める語学能力	IELTS 6.5かつ各項目5.5以上		(別添	2)	応募者の語学能力
入学許可書の状況	無	条件付きの場合の条件内容			
大学入学準備コースの必要性	必須	※日本の教育制度との相違から準備コース履修が必須の場合のみ「必須」を選択してください。			
取得できる学位及び学位取得プログラムの概要 ※【重要】「学士」の学位名がわかる資料を必ず添付してください。					
●●●××●●●					
*抜粋元 http://www.jasso.●●●/degree.html					(別添 3)
留学先大学の概要					
●●●××●●●					
*抜粋元 http://www.jasso.●●●/info.html					(別添 4)

II.第2希望【学部正規課程入学のための大学入学準備コース】 ※語学能力不足を補うための語学コースは支援対象外のため、記入できません。					
機関名(英語又は現地語)	UNIVERSITY OF JASSO				
準備コース等の名称	Foundation course				
所在国の国・地域コード	794	所在国・地域	英国	所在都市	ロンドン
機関の住所	●●●●, London, UK				
留学先大学の所在都市の危険情報(「外務省 海外安全ホームページ」)	レベル1以下		確認年月日	2018年9月30日	
準備コースの開始年月	2019	年	3	月開始	準備コースの期間
留学先が求める語学能力	IELTS 5.5		(別添	5)	応募者の語学能力
準備コースの概要					
●●●××●●●					
*抜粋元 http://www.jasso.foundation/●●●/courseinfo.html					(別添 6)

2-3. 【第3希望】 留学先大学等情報

様式2-3

I. 第3希望【学部正規課程】				
大学名(英語又は現地語)				
所在国の国・地域コード	所在国・地域		所在都市	
大学の住所				
留学先大学の所在都市の危険情報(「外務省 海外安全ホームページ」)			確認年月日	
正規の学部課程の開始年月	年	月開始	学士号取得期間	年 月 (別添)
取得予定学位名(英語)				種別
留学先が求める語学能力	(別添)			応募者の語学能力 IELTS 7.0
入学許可書の状況	条件付きの場合の条件内容			
大学入学準備コースの必要性	※日本の教育制度との相違から準備コース履修が必須の場合のみ「必須」を選択してください。			
取得できる学位及び学位取得プログラムの概要 ※【重要】「学士」の学位名がわかる資料を必ず添付してください。				
*抜粋元				(別添)
留学先大学の概要				
*抜粋元				(別添)

II. 第3希望【学部正規課程入学のための大学入学準備コース】 ※語学能力不足を補うための語学コースは支援対象外のため、記入できません。				
機関名(英語又は現地語)				
準備コース等の名称				
所在国の国・地域コード	所在国・地域		所在都市	
機関の住所				
留学先大学の所在都市の危険情報(「外務省 海外安全ホームページ」)			確認年月日	
準備コースの開始年月	年	月開始	準備コースの期間	年 月
留学先が求める語学能力	(別添)			応募者の語学能力 IELTS 7.0
準備コースの概要				
*抜粋元				(別添)

3-1a. 留学を志す理由【日本語で記入してください。】

**【作成要領】**

本項目の作成にあたっては、以下の要素を勘案しながら、与えられたスペースの中で、総合的に「留学を志す理由」について魅力と説得力のある記述を心がけてください。

まず、①今から20～30年後の将来までに、どのような人材あるいはエキスパートとして、どのようなキャリア的もしくは社会的に成功と実績を収めた自己実現をしたいかという、将来の夢と意義のある目的、そして、その目的を達成するための最低限の目標を書いた後、②「そのように思うようになったエピソード(理由ときっかけ)」や「将来目指したい自分のイメージ(含む、性格・気質等)」を簡潔に記述してください。

続いて、その将来の目的・目標に対して、③自分の適合性を始め、現在の自分に備わっているもの、不足しているものを客観的に分かりやすく記述し、④将来の目的・目標のために、これからどのような知識、技術、経験を得てどのように成長していく必要があるのか、また、どのようなことに取り組む必要があるのかを具体的に示してください。

さらに、⑤そのためには、今回の留学がどのような目的や理由で必要なのか、なぜ日本や他国ではなく、今回希望している国や大学、そして、その専攻である必要があるのかを説明してください。

最後に、本項目のまとめとして、⑥人生の集大成として、冒頭でふれた「将来の目的と目標」に記述された成功や実績などの社会貢献が自己実現でき、自分の人生の中でどれだけ重要な意味と意義があることなのかを、今回の留学で培うだろう人生経験を推測して含めながら、記述してください。

【注意事項】

- ・本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。
- ・作成要領の趣旨と指示に従って作成してください。
- ・○印が付いた番号に相当する内容を記述した場合は、文章の冒頭に、該当する○付きの番号を振り、記述内容が明確に分かるようにしてください。
- ・説明を補完するための絵図表や写真等を貼りつけても構いません。但し、それぞれの様式についてA4用紙1枚以内に収まるよう作成してください(様式3-1a、様式3-2a、様式3-3a共通)。

3-2a. 留学計画【日本語で記入してください。】

【作成要領】

本項目では、前述「3-1a. 留学を志す理由について」で示した20-30年後の将来の夢と意義のある目的と最低限の目標を達成するための具体的な留学計画を記述します。作文にあたっては、以下の要素を勘案しながら、魅力と説得力のある記述を心がけてください。

まず、留学先の大学、専攻では①どのように特徴があるカリキュラムがあり、どのようなことをするのかを書き、そのようなコースから、これまでにどのような「能力や経験」を身に付けた人材を輩出してきているのかを書き(推測可)、②それは、自分の将来の夢と意義がある目的と最低限の目標に対して、どれくらい適合していて、どのくらい自分が将来に必要なとする知識・技術・経験が修得できるのかを可能な限り具体的に記述してください。(但し、ここでいう「能力や経験」とは、単なる知識・技術ではありません。以下、同様。)

次に、③留学する初年度における学修と生活面での目的と目標を立て、それに対して、④履修予定科目や取り組み予定の学内外の活動、人的ネットワーク、予想される問題やリスク・課題、ならびに、日常からの意識や姿勢を書き、初年度までに修得予定の「能力や経験」について記述してください。

続いて、⑤留学する2年目における学修と生活面での目的と目標を立て、それに対して、⑥履修予定科目や取り組み予定の学内外の活動・社会貢献、人的ネットワーク、予想される問題やリスク・課題、ならびに、初年度とは違う日常からの意識や姿勢を書き、留学の中間地点である2年目が終了するまでに修得予定の「能力や経験」を記述してください。

同様に、⑦留学する3年目における学修と生活面での目的と目標を立て、それに対して、⑧履修予定科目や取り組み予定の学内外の様々な活動、人的ネットワーク、予想される問題やリスク・課題、ならびに、最初の2年とは違う日常からの意識や姿勢を書き、卒業する1年前までに達成すべき修得予定の学術的・キャリア的な「能力や経験」について記述してください。

そして、⑨留学最終年度における学修と生活面、ならびに、卒業までの準備についての目的と目標を立てて、それに対して、⑩履修予定科目や取り組み予定の学内外の様々な活動、人的ネットワーク、予想される問題やリスク・課題、ならびに、最初の3年とは違う日常からの意識や姿勢、そして卒業までに達成すべき修得予定の「能力や経験」について記述してください。

さらに、冒頭の①で述べたコースのカリキュラムがこれまでに輩出してきた人材と比べて、留学を終わるまでの自分の「能力や経験」、そして、将来の目的・目標と比較してみて、あなたの留学計画が、留学の目的と目標ならびに自己実現を達成できる確かな計画であることを示してください。

【注意事項】

- ・本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。
- ・作成要領の趣旨と指示に従って作成してください。
- ・○印が付いた番号に相当する内容を記述した場合は、文章の冒頭に、該当する○付きの番号を振り、記述内容が明確に分かるようにしてください。但し、すべての項目を詳細に記述するとスペースが不足することも勘案して作成してください。

3-3a. 卒業直後の進路計画【日本語で記入してください。】

【作成要領】

本項目では、前述「3-1a. 留学を志す理由について」及び「3-2a. 留学計画について」の記述を踏まえ、以下の要素を勘案しながら、魅力的で説得力のある記述を心がけてください。

まず、前述の3-1a、3-2aを踏まえて、①留学直後には、どのような知識や技術によりどのような「能力と経験」を身に付け、あなたがどのようなことができる人物になっているかを人格・性格・気質等を含めて記述してください。

次に、②20～30年後の将来の目的と目標を達成するために、申込をしている学位課程の卒業直後の進路について、そして、③その次のステージの進路でどのような精進を行い、研鑽を積み、どのような人的ネットワークを形成していくか、④最終的に20～30年後の目的と目標とする自己実現に向けて、どのようなことをしていくのかを記述してください。

最後に、⑤留学中、あるいは、卒業直後の進路、そして、その次のステージの進路の中で培った「能力や経験」と、形成した人的ネットワークをキャリアとしてどのように活かし、日本及び留学先国の社会・大学・人々に貢献して将来の目的・目標の自己実現に繋げていくのかという卒業後の構想を可能な限り具体的に記述してください。

【注意事項】

- ・本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。
- ・作成要領の趣旨と指示に従って作成してください。
- ・○印が付いた番号に相当する内容を記述した場合は、文章の冒頭に、該当する○付きの番号を振り、記述内容が明確に分かるようにしてください。
- ・説明を補完するための図表や写真等を貼りつけても構いません。但し、それぞれの様式について1枚以内に収まるよう作成してください(様式3-1、様式3-2、様式3-3共通)。

3-1b. 留学を志す理由【留学先使用言語で記入してください。】

●×●×・・・

【作成要領】
本項目の作成にあたっては、日本語で記載された前述の「3-1a. 留学を志す理由について」を、留学先の言語で記載してください。

【注意事項】

- ・本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。
- ・それぞれの様式について1枚以内に収まるよう作成してください(様式3-1b、様式3-2b、様式3-3b)。

3-2b. 留学計画【留学先使用言語で記入してください。】

● × ● ×

【作成要領】

本項目の作成にあたっては、日本語で記載された前述の「3-2a. 留学計画について」を、留学先の言語で記載してください。

【注意事項】

- ・本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。
- ・それぞれの様式について1枚以内に収まるよう作成してください(様式3-1b、様式3-2b、様式3-3b)。

3-3b. 卒業直後の進路計画【留学先使用言語で記入してください。】

● × ● ×

【作成要領】

本項目の作成にあたっては、日本語で記載された前述の「3-3a. 卒業後の進路計画について」を、留学先の言語で記載してください。

【注意事項】

- ・本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。
- ・それぞれの様式について1枚以内に収まるよう作成してください(様式3-1b、様式3-2b、様式3-3b)。

4. 日本社会への貢献について【日本語で記入してください。】



【作成要領】

本項目の作成にあたっては、以下の要素を勘案しながら、与えられたスペースの中で、「日本社会への貢献」について、魅力と説得力のある記述を心がけてください。

様式3-1a、3-2a、3-3aでは、個人の立場からの留学についての理由、計画進路を記述してもらいましたが、ここでは、①その個人の立場からの将来の夢と意義がある目的と目標を達成したときのあなたが、あるいは、達成するなかでのあなたが、②国内外の場所や時間・時期を問わず、あなたの人生や生涯を通じたキャリアや社会活動を通じて、どのようにして日本社会に貢献できるかについて、可能な限り具体的に記述してください。

また、ご存知の通り、国費を投入する場合、国民に対して説明が必要となります。あなたが、自費や民間奨学金ではなく、②なぜ国費で留学をする必要があるのか、そして、③あなたはどのようにそれを還元するつもりなのかについて記述し、それが④日本の国や社会にとってどれだけの意味と意義があり、どのように国民に説明し・納得してもらおうつもりなのかを明確に記述してください。

なお、ここでは、内容順序や文章構成は自由です。

【注意事項】

- ・本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。
- ・作成要領の前述の趣旨と指示に従って作成してください。
- ・○印が付いた番号に相当する内容を記述した場合は、文章の冒頭に、該当する○付きの番号を振り、記述内容が明確に分かるようにしてください。
- ・説明を補完するための絵図表や写真等を貼りつけても構いません。但し、それぞれの様式についてA4用紙1枚以内に収まるよう作成してください。

5. 留学をテーマとした自己PR

**【作成要領】**

今回の奨学金を応募するにあたり、「留学と自分」をテーマとした自己PRについて、本様式1枚を使って自由に記載してください。

これまでの「様式3」ならびに「様式4」に比べて、ここでは、あなたの個性に基づく、創意工夫が一番求められます。与えられたテーマに対して、全く自由に、存分な自分を表現してください。

【注意事項】

- ・本様式は、必ずエクセルデータ入力により、作成してください。
- ・絵図表ならびに写真等を貼りつけても構いません。但し、必ず1枚に収まるよう作成してください。

連絡人(保護者)届出書兼同意書

独立行政法人日本学生支援機構
理事長 殿

私(応募者)は、海外留学支援制度(学部学位取得型)の派遣学生として採用された場合の海外留学期間中の日本国内における連絡人兼保護者について、以下のとおり届出いたします。

(連絡人兼保護者)

(フリガナ) キコウ エイタロウ
氏名 機構 栄太郎
住所 東京都江東区青海2-2-1

(西暦) 2018 年 9 月 30 日

応募者氏名 機構 花子 機構

【以下、必ず連絡人兼保護者が記入してください。】

私は、(応募者) 機構 花子 が海外留学支援制度(学部学位取得型)の派遣学生として採用された場合、本制度採用期間中の日本国内の連絡人兼保護者として、本人が日本学生支援機構と直接連絡できない場合、本人に代わって日本学生支援機構との連絡の窓口になるとともに、本人が災害・事故・病気等の不測の事態に遭遇した場合、保護者として迅速に対応し、日本学生支援機構と連携・協力することに同意いたします。

(西暦) 2018 年 9 月 30 日

(連絡人兼保護者)

(フリガナ) キコウ エイタロウ
氏 名 機構 栄太郎 機構
住 所 東京都江東区青海2-2-1
電話番号 03-5520-6014
e-mail jasso-ryugaku@s-hr.jp
応募者との
続柄・関係 父

日本国内在住の成人である はい

チェックを忘れない
ようにしてください

2019年度海外留学支援制度(学部学位取得型)出願書類確認表

応募者氏名	機構花子
-------	------

(1)書類の作成について・・・必要書類の欠落(不足)や記入漏れがないかを確認し、確認後は「応募者チェック欄」に「✓」を記入してください。

提出方法	No.	様式番号	応募書類名	作成者	留意点	対象者	応募者 チェック欄
Excelファイル提出書類	①	様式1	願書	応募者	該当する箇所について、漏れなく入力したか。写真があるか。資格要件(国籍、最終学歴、学業成績基準、語学能力)を満たしているか。	全員	✓
	②	様式2-1	【第1希望】留学先大学等情報	応募者	該当する箇所について、漏れなく入力したか。資格要件(危険情報、留学先が求める語学能力)を満たしているか。	全員	✓
	③	様式2-2	【第2希望】留学先大学等情報	応募者	学士課程又は大学入学準備コースが2019年4月から2020年3月までの間に開始するか。	海外の大学を2校以上出願する者	✓
	④	様式2-3	【第3希望】留学先大学等情報	応募者	※日本との教育制度の相違により、学士課程入学前に、「大学入学準備コース」を修了する必要がある場合には、「大学入学準備コース」についても、漏れなく入力すること。	海外の大学を3校以上出願する者	✓
	⑤	様式3-1a 様式3-2a 様式3-3a	留学理由・留学計画・卒業直後の進路計画(日本語)	応募者	各項目ごとにA4判1枚で作成すること。 日本語で入力すること。 印刷(あるいはPDF化)し、文字切れがないかを確認すること。	全員	✓
	⑥	様式3-1b 様式3-2b 様式3-3b	留学理由・留学計画・卒業後の進路計画(留学先使用言語)	応募者	各項目ごとにA4判1枚で作成すること。 留学先使用言語で入力すること。 印刷(あるいはPDF化)し、文字切れがないかを確認すること。	全員	✓
	⑦	様式4	日本社会への貢献について	応募者	A4判1枚で作成すること。 日本語で入力すること。 印刷(あるいはPDF化)し、文字切れがないかを確認すること。	全員	✓
	⑧	様式5	留学をテーマとした自己PR	応募者	A4判1枚で作成すること。 印刷(あるいはPDF化)し、文字切れがないかを確認すること。	全員	✓
	⑨	様式7	出願書類確認表	応募者	本紙	全員	✓
オンライン提出	⑩	様式2-1～2-3別添	留学先大学等の情報(HP等の写し)	応募者	様式2-1～2-3の別添資料。 A4判で用意すること。 該当箇所にマーカー(色付き)と日本語訳を付けること。 「別添1」、「別添2」…と番号を付けること。	全員	✓
	⑪	—	日本国籍又は日本での永住許可を証明する書類(写し)	—	マイナンバーが記載されている場合は黒く塗りつぶすこと。	全員	✓
	⑫	—	留学先大学への出願書類一式(写し)	日本語訳は応募者が作成	日本語訳を添付すること。 出願前であっても、できる限り提出すること。 本制度への応募時に入手できる最新の情報を添付すること。	全員	✓
	⑬	—	入学許可書(写し)	日本語訳は応募者が作成	第1希望～第3希望。 日本語訳を添付すること。 留学先大学から入学許可を得ている場合は、「入学許可書(写し)」を必ず提出すること。	該当者	✓
	⑭	—	英語能力試験証明書(写し)	語学試験実施団体	留学先大学での使用言語が英語の場合・・・TOEFL iBT 80点以上又はIELTS6.0以上。 応募締切日から過去2年以内に発行された証明書であること。	全員(いずれか該当するものみの提出。)	✓
		—	語学能力試験証明書(写し)	語学試験実施団体	留学先大学の使用言語が英語以外の場合・・・CEFRのB2レベル以上。 応募締切日から過去2年以内に発行された証明書であること。		
		所定様式	語学能力証明書(所定様式)【該当者のみ使用】	語学能力証明者	該当者のみ提出する。		
	⑮	—	卒業証明書又は卒業見込み証明書(写し)	在籍又は卒業学校	平成30(2018)年度中に卒業すること。又は応募締切日に卒業から3年以内であること。	高等学校等及び専修学校卒業生・卒業見込み者	✓
		—	修了見込み証明書(写し)	在籍学校	平成30(2018)年度中に3年次を修了すること。	高等専門学校3年次修了者	✓
		—	合格証明書(写し)	文部科学省	※高等学校卒業程度認定試験については、合格年度は問わない。	高等学校卒業程度認定試験合格者	✓
—		単位修得証明書(写し)	在籍又は卒業学校	高等学校卒業程度認定試験の合格者で、高等学校等で修得した単位がある場合には、提出すること。	該当者	✓	
⑯	—	家計支持者の平成29(2017)年所得明書(写し)	市町村役場	父・母、又はこれに代わって家計を支えている者の市町村役場発行の証明書を提出すること。 父母は、収入の有無に関わらず、提出が必要。	全員	✓	
⑰	様式6	連絡人(保護者)届出書兼同意書	応募者・連絡人(保護者)	指定の場所2か所に押印があるか。 連絡人は日本国内在住の成人であること。	全員	✓	
郵送提出	⑱	—	調査書(原本)	在籍又は卒業学校	・開封せずに、厳封のまま提出すること。	全員(いずれか該当するものみの提出。)	✓
		—	成績証明書(原本)	在籍又は卒業学校			✓
		—	成績証明書(原本)又は合格見込み成績証明書(原本)	文部科学省			✓
	⑲	所定様式	推薦状【推薦者用】(原本)	在籍又は卒業学校	・学校長に作成してもらうこと(学校長以外無効) ・開封せずに、厳封のまま提出すること。	高等学校卒業程度認定試験合格者を除く全員	✓

(2)書類の提出について・・・以下の点に注意し、提出期間内にすべての書類を提出してください。

チェック項目	チェック内容	応募者 チェック欄
1	Excelファイルの名前は「○○○○_2019様式.xlsx」である。(※○○○○には応募者の氏名を入力してください。)	✓
2	PDF提出書類⑩～⑰)をすべてA4判・片面印刷で統一し、「出願書類確認表(様式7)」応募書類一覧の順(⑩→⑰)に並べ替えた。	✓
3	2で並び変えたPDF提出書類すべてを1つのPDFファイルに統合(PDF化)し、PDFファイルの名前を「○○○○_申請書類.pdf」にした。(※○○○○には応募者の氏名を入力してください。)	✓
4	Excelファイル、PDFファイルともオンラインシステムで提出した。	✓
5	調査書(成績証明書又は合格(見込み)成績証明書)の原本及び推薦状の原本については、厳封のまま、配達記録の残る方法により郵送した(宅配便でも可)。	✓

※提出種類の不備等があると、審査の対象外となり、不合格となります。提出書類は、できる限りダブルチェックしてもらうことをお勧めします。

※「願書ファイル(様式1～5及び様式7)」に記入した内容が根拠書類の記載内容と一致していない等の疑義がある場合は、根拠書類の記載内容を優先し審査します。

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿

推薦状

【推薦
下記事

高等学校卒業程度認定
試験合格者は、提出不
要です

上、応募者にお渡しください

必ず在籍又は卒業した学校長
に「推薦状」を作成していただき、未開封で提出してください

※開封された場合は、無効です

【記入

1 応

		特に優れて いる (10%以 内)	優れている (20%以内)
学業面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
性格・人格面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
総合評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※応募者の資質について、できるだけ詳しくご記入ください

- 2 この推薦書は、何に基づき記入しましたか？(複数回答可)
- 応募者との日常関係 過去の成績の記録
- 他の教員からのコメント その他 (具体的に：)
- 3 応募者は留学計画書にある目的を達成することが可能ですか？
- 間違いなく可能 可能 可能であるが努力が必要 可能性は低い
- 4 応募者の留学終了後の活躍は期待できますか？
- 大いに期待できる かなり期待できる 期待できる 本人次第
- 5 応募者を本制度による派遣学生として
- 自信を持って強く推薦する 推薦する 本人の希望を尊重して推薦する
- 6 推薦にあたっての特記事項をご記入ください (別紙(様式任意)添付可)。

上記のとおり _____氏が海外留学支援制度(学部学位取得型)に採用されることを推薦
します。

(西暦) 年 月 日

職名： _____ 学校 学校長

住所： _____

連絡先：(TEL) _____

氏名： _____

署名： _____

独立行政法人 日本学生支援機構 理事長 殿

語学能力証明書

下記の応募者の語学能力について、下記のとおり証明します。

「ヨーロッパ共通言語参照枠 (CEFR)」に対応している言語には、本証明書は使用できません

対応している語学試験があるにもかかわらず、本証明書を提出した場合は審査対象外になります

語学能力証明者：氏 名 :

連絡先(住所):

連絡先(電話番号):

職 業 :

(署名又は押印)

記

1. 応募者氏名

2. 在籍する(又は卒業した)学校

3. 語学能力

高等学校卒業程度認定試験合格者は空欄にしてください

区 分	読む能力	書く能力	聴く能力	話す能力	学習期間(年)
語					

(コメントすることがあればご記入ください。)

4. 語学能力証明者ご自身の上記「3.語学能力」に記載する言語の語学力

① 使用歴

② 使用年数(①で2. 又は3. と回答した方のみ記入してください。)

(注) 「3. 語学能力」について、留学先で必要な言語を、優、良、可、不可をもって記入してください。

(注) 高等学校卒業程度認定試験合格者は、「2. 在籍する(又は卒業した)学校」は空欄にしてください。